

# 平成14年度決算報告 秋田市の家計簿

秋田市の平成14年度一般会計・特別会計の決算が、昨年12月の市議会にて認定されました。みなさんが納めた税金や国・県からくるお金がどのように使われたか、一般会計と特別会計の財政状況をお知らせします。

## 一般会計

一般会計は、福祉や都市基盤の整備、教育など市の一般的な事業に使われる経費のことです。歳入から歳出を差し引くと21億6,955万9千円が残り、ここから平成15年度に繰り越した事業のための財源である8億440万4千円を除いた、13億6,515万5千円が黒字になりました。

消防費・災害復旧費・諸支出金

43億6,810万2千円(4.1%)

労働費・農林水産業費・商工費

66億2,618万2千円(6.2%)

衛生費

105億8,408万5千円(9.8%)

議会費・総務費

115億7,724万7千円(10.8%)

公債費

135億6,262万3千円(12.6%)

教育費

145億7,774万5千円(13.6%)

## 歳出(目的別)

1,074億1,385万9千円

民生費

253億4,709万1千円(23.6%)

土木費

207億7,078万4千円(19.3%)

参考データ

## 歳出(性質別)

1,074億1,385万9千円

人件費

(市職員の給与など)  
209億4,738万7千円(19.5%)

投資的経費(施設や道路などを建設する経費)

174億8,411万8千円(16.3%)

扶助費

(生活困窮者、身体障害者への生活維持費など)  
157億2,990万3千円(14.6%)

## 歳入

1,095億8,341万8千円

県支出金

22億8,262万2千円(2.1%)

諸収入

44億1,599万1千円(4.0%)

地方譲与税・交付金

62億1,203万円(5.7%)

国庫支出金

126億2,170万7千円(11.5%)

市債

151億1,046万円(13.8%)

地方交付税

192億1,303万6千円(17.5%)

市税

420億6,057万7千円(38.4%)

使用料及び手数料  
21億1,588万6千円(1.9%)

その他

55億5,110万9千円(5.1%)

## 14年度一般会計のおもな使いみち

**民生費**...福祉、保育、医療などに使いました。福祉複合施設、保育所などの整備、福祉医療費の給付などを行いました。

**土木費**...道路や公園の整備、市営住宅の建設などに使いました。

**衛生費**...保健衛生、環境衛生などに使いました。健康診査や予防接種、家庭ごみの祝日収集などを行いました。

**議会費・総務費**...議会の運営、選挙、統計調査などに使いました。住民票・印鑑証明の自動交付機整備や、住民基本台帳ネットワークシステム整備などを行いました。

**教育費**...小・中学校や公民館の施設整備、社会教育の充実などに使いました。勝平小学校の増改築や八橋運動公園のリニューアルなどを行いました。

**労働費・農林水産業費・商工費**...労働者福祉対策、中小企業支援、農林水産業や商工業・観光の振興などに使いました。就業支援や、中小企業への融資、市民市場改築の助成などを行いました。



ウェルビューいずみ



東部世代間交流会で

# 特別会計

特別会計は、介護保険や国民健康保険など特定の事業を行う場合、その収入を支出に充てるため、一般会計と区別している会計のことです。

「市債」とは市の借入金のこと。これにより、学校のように将来まで役立つ施設の建設費を次世代にも平等に負担してもらうことができます。また、「基金」は、いろいろな目的のために用意しておく市の貯金です。14年度は、13年度よりも約4億円ほど減っています。

秋田市の市債借入金	一般会計	1,350億1,263万6千円
	土地区画整理会計	1億9,900万円
	市有林会計	17億5,272万9千円
	中央卸売市場会計	20億6,569万6千円
	農業集落排水会計	29億9,878万2千円
	大森山動物園会計	5億5,518万円
	廃棄物発電会計	7億2,290万円
合計	1,433億 692万3千円	

秋田市の基金(貯金)	財政調整基金	24億4,989万9千円
	減債基金	49億7,902万6千円
	地域振興基金	3億4,452万3千円
	文化振興基金	3億2,020万円
	庁舎建設基金	58億7,944万9千円
	ふれあい福祉基金	9億 584万6千円
	国民健康保険事業財政調整基金	5億5,800万円
	スポーツ振興基金	3億 11万2千円
	短期大学運営基金	20億1,000万円
	美術作品等取得基金	1億8,246万3千円
	介護保険事業財政調整基金	4億7,677万1千円
合計	184億 628万9千円	

会計別	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	差引額 (A) - (B)
土地区画整理会計	20億4,651万3千円	17億4,556万1千円	3億 95万2千円
市有林会計	1億8,748万1千円	1億8,395万6千円	352万5千円
市営墓地会計	4,291万9千円	2,881万3千円	1,410万6千円
中央卸売市場会計	6億9,421万2千円	6億7,606万2千円	1,815万円
農業集落排水会計	4億2,844万8千円	4億1,845万1千円	999万7千円
大森山動物園会計	6億 547万2千円	5億9,602万7千円	944万5千円
土地取得会計	14億2,511万7千円	14億2,511万7千円	-
廃棄物発電会計	1億7,092万7千円	1億6,274万8千円	817万9千円
国民健康保険事業会計	194億 926万7千円	193億7,750万1千円	3,176万6千円
老人保健医療事業会計	282億5,327万6千円1	281億4,262万4千円	1億1,065万2千円
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	億 439万5千円	7,466万5千円	2,973万円
介護保険事業会計 (保険事業勘定)	139億 464万9千円	134億5,813万6千円	4億4,651万3千円
介護保険事業会計 (介護サービス事業勘定)	2,882万1千円	2,882万1千円	-
合計	673億 149万7千円	663億1,848万2千円	9億8,301万5千円

## 公営企業

企業決算では、営業面から見た収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面からみた収支を「資本的収支」と表しています。

公営企業の経営は、市民ニーズを満たしながら、収益的収支に大きな赤字が出ないような経営が望ましいといえます。

なお、右表の市立病院・交通局のほか、下水道部、水道局も公営企業会計を採用しています。下水道部の決算は広報あきた11月28日号、水道局は12月12日号で詳しく掲載していますので、そちらをご覧ください。



### 市立病院

厳しい医療環境の中、患者のニーズに応えるための診療体制の充実に努めました。

収益的収支	収入	91億8,602万9千円
	支出	90億8,931万4千円
	差引	9,671万5千円
	累積欠損金	27億4,163万5千円
資本的収支	収入	3億2,697万円
	支出	8億1,454万9千円
	差引	4億8,757万9千円
	補てん財源	損益勘定留保資金など 4億8,757万9千円

資本的収支には消費税を含みます

### 交通局

民間事業者の一部路線を移管し、事業規模の縮小による効率化や、職員の接遇向上に取り組みました。

収益的収支	収入	17億5,525万6千円
	支出	17億 943万9千円
	差引	4,581万7千円
	累積欠損金	19億7,486万8千円
資本的収支	収入	-
	支出	144万1千円
	差引	144万1千円
	補てん財源	一時借入金 144万1千円

資本的収支には消費税を含みます

#### 用語解説

**収益的収支**...その年度の企業の経営活動で発生した収入と、その収入を得るためにかかった費用(支出)のこと。収入はサービス提供の対価としての料金収入が主体で、支出はサービス提供に要する人件費、光熱水費、減価償却費などです

**資本的収支**...支出には、住民に対するサービスの提供を維持したり、将来の利用増に対応し経営規模を拡大したりする建設改良費や、企業債(借入金)の元金償還金など、収入には、資産の取得などに要する資金である企業債(借入金)や国からの補助金などを計上します

**損益勘定留保資金**...収益的収支の支出に計上される減価償却費など現金支出を伴わない費用は、企業内部に留保された形の資金となります。これを費用化して、資本的収支の資金不足に充当する補てん財源の一部にすることができます